

都市再生整備計画

あいの
愛野地区

ながさきけん うんぜんし
長崎県 雲仙市

令和元年8月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長崎県	市町村名	雲仙市	地区名	雲仙市 愛野地区	面積	4.5 ha
計画期間	平成 28 年度 ~ 令和 2 年度	交付期間	平成 28 年度 ~ 令和 2 年度				

目標
<p>大目標: 愛野地域における交流、賑わい創出による地域活性化</p> <p>① 交流と賑わいを創出するまちづくりの推進</p> <p>② 交通結節点である利点を活かしたまちづくりの推進</p> <p>③ 人にやさしい安心・安全な道路整備</p>

目標設定の根拠
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛野地区は本市の中央部に位置し、島原半島の陸の玄関口として古くから交通の要衝として栄え、東西に緩やかに傾斜する台地状の畑地帯と肥沃な水田地帯に分けられ、自然美豊かな地形は農業に適し、水稲、馬鈴薯、畜産、いちご及び花きなどの施設園芸等を中心とした複合経営が盛んで、特に、馬鈴薯栽培においては、暖地馬鈴薯の生産団地としてその名を全国に馳せている。また、外部との交通路として、国道57号及び国道251号が長崎・大村・諫早と雲仙市を結ぶ動脈として機能しており、島原鉄道が中心部を横断し、島原半島の結節点の役割を果たしている。 ・近年、地理的位置及び交通の利便性、上下水道の整備等により宅地開発や大型店舗、娯楽施設等の事業所進出と宅地開発が急速に進み、市全体では人口減少が急速に進む中、市内で唯一人口が増加している地区であり、国道251号と雲仙グリーンロードを結ぶ縦断線道路の整備や、現在一部開通した地域高規格道路の整備が進むことにより、今後更に定住人口の増加が期待される。 ・平成24年10月、市役所本庁舎及び各総合支所を計画的に整備するため庁内に庁舎整備検討委員会を組織し、検討を重ね、愛野地区においては、総合支所と公民館を一体的に整備し、支所機能と公民館機能を兼ね備えたコミュニティセンターとして整備する方針を決定。 ・平成25年10月、コミュニティセンターとして必要な機能や規模について広く市民の意見を聞くため、第1回市民ワークショップを開催。25名参加 ・平成25年11月、第2回市民ワークショップを開催。16名参加 ・平成26年3月、愛野地域審議会より「愛野町公民館の建替え(複合施設建設)とこれを拠点とした新しいまちづくりについて」の提言書の提出があり、地域コミュニティセンターの建設やバス停の集約化などの整備促進が提言された。 ・平成26年8月、愛野地域各種団体15団体より「コミュニティセンター(複合施設)の建設とこれを拠点とした新しいまちづくりについて」の要望書の提出があり、地域コミュニティセンターの建設やバス停の集約化などの整備促進が要望された。 ・要望書の提出を受け、市役所内部において基本構想(案)を検討し、平成27年4月から建築の専門家や施設を主に利用する市民の代表者等で建設検討委員会を組織し、基本構想についての最終的な意見集約を行っている。

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・愛野総合支所は住宅地の中にあり、駐車場も狭く8台程度しか駐車できないため利便性が悪い。 ・愛野町公民館は地理的条件に恵まれていることもあり、市内はもとより市外からの利用者も多く、近年、需要に対応できない状況になっている。また、会議室やホールが2階にあり、エレベーターが未設置なため、バリアフリー対策が必要である。 ・交通の要衝であるにもかかわらず、バス停が複数箇所に分散しており、利用者の乗り継ぎが複雑で、非常に不便である。 ・宅地開発や事業所の進出が急速に進んでおり、地区内の定住人口は増加しているが、生活道路や排水路などの住環境の整備が遅れている。 ・歩道の未整備区間があり、歩行者や自転車利用者の安全を守るための道路整備が必要である。

<p>【雲仙市総合計画(後期基本計画)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雲仙市の将来像を「豊かな大地・輝く海と ふれあう人々で築く たくましい郷土」と位置づけ、その実現のために、①「みんなで作るまちづくり」、②「快適で住みよい暮らしづくり」、③「笑顔いっぱい健康と福祉づくり」、④「力強い産業と仕事づくり」、⑤「新しい観光・交流による活力づくり」、⑥「明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり」の6つを基本方針としている。 ・特に、②「快適で住みよい暮らしづくり」の中では、政策5「公共交通体系の充実」の中で、交通結節点である利点を活かした展開を掲げている。 <p>【雲仙市都市計画マスタープラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の将来像を「自然に調和した快適な暮らしと賑わいのある地域」と位置づけ、地域づくりの目標として「定住促進に向けた利便性の高い住環境と賑わいのある都市拠点づくり」、「自然と調和のとれたやすらぎのある住環境づくり」、「優れた自然や歴史を活かした、魅力ある地域づくり」を掲げ、愛野町中心部の拠点性の向上を図ること、円滑な交通に向けた市道の整備・改善を図ることを地域づくりの方針としている。 ・愛野地区においては、生活利便施設の集積や公共交通の結節点としての利便性を活かした、定住人口、交流人口の増加を図り、人の集う賑わいのある市街地の形成を目指すことを掲げている。 ・上記ビジョンを実現するため、交通及び地域交流の拠点として、道路や地域交流センターの整備に取り組み、定住人口、更には交流人口の増加を図り、人の集う賑わいのあるまちづくりを進める。

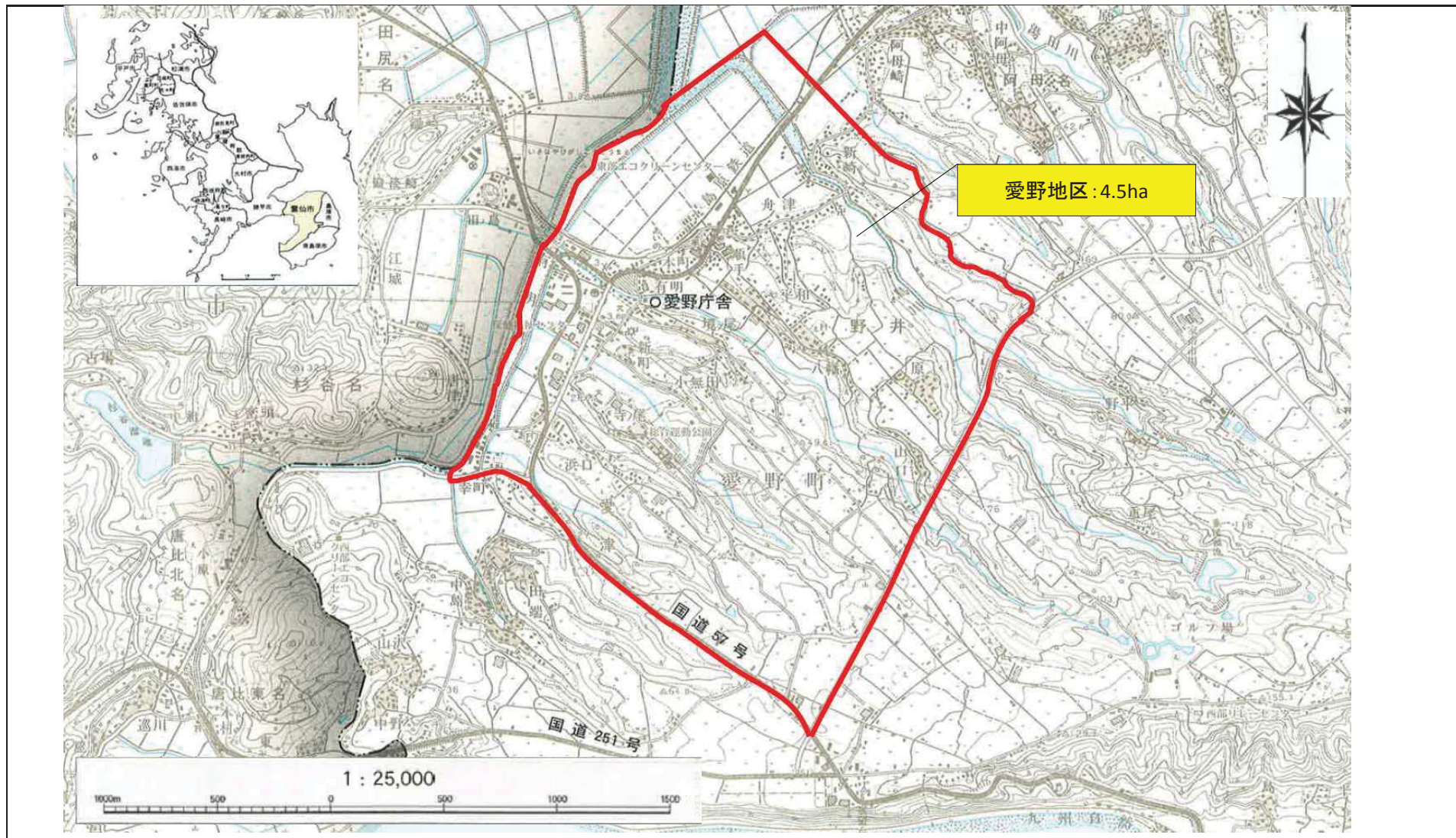
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
地域交流センターの利用者数	人	愛の夢未来センターの施設利用者数 (H26公民館:61,326人+図書室:2,550人 計63,876人)	愛の夢未来センターの整備による交流人口の増加を図る。 (R2交流スペース:73,000人+図書スペース:5,000人 計78,000人)	63,876人	H26	78,000人	R2
市民満足度調査	%	バス乗り継ぎに関する市民満足度調査結果	バス停の集約による利便性の向上を図る。(不便だと感じている人の割合)	62%	H26	49%	R2
市民満足度調査	%	交通体系網の整備に関する市民満足度調査結果	生活道網路整備による満足度の向上を図る。	42%	H26	50%	R2

都市再生整備計画の整備方針等

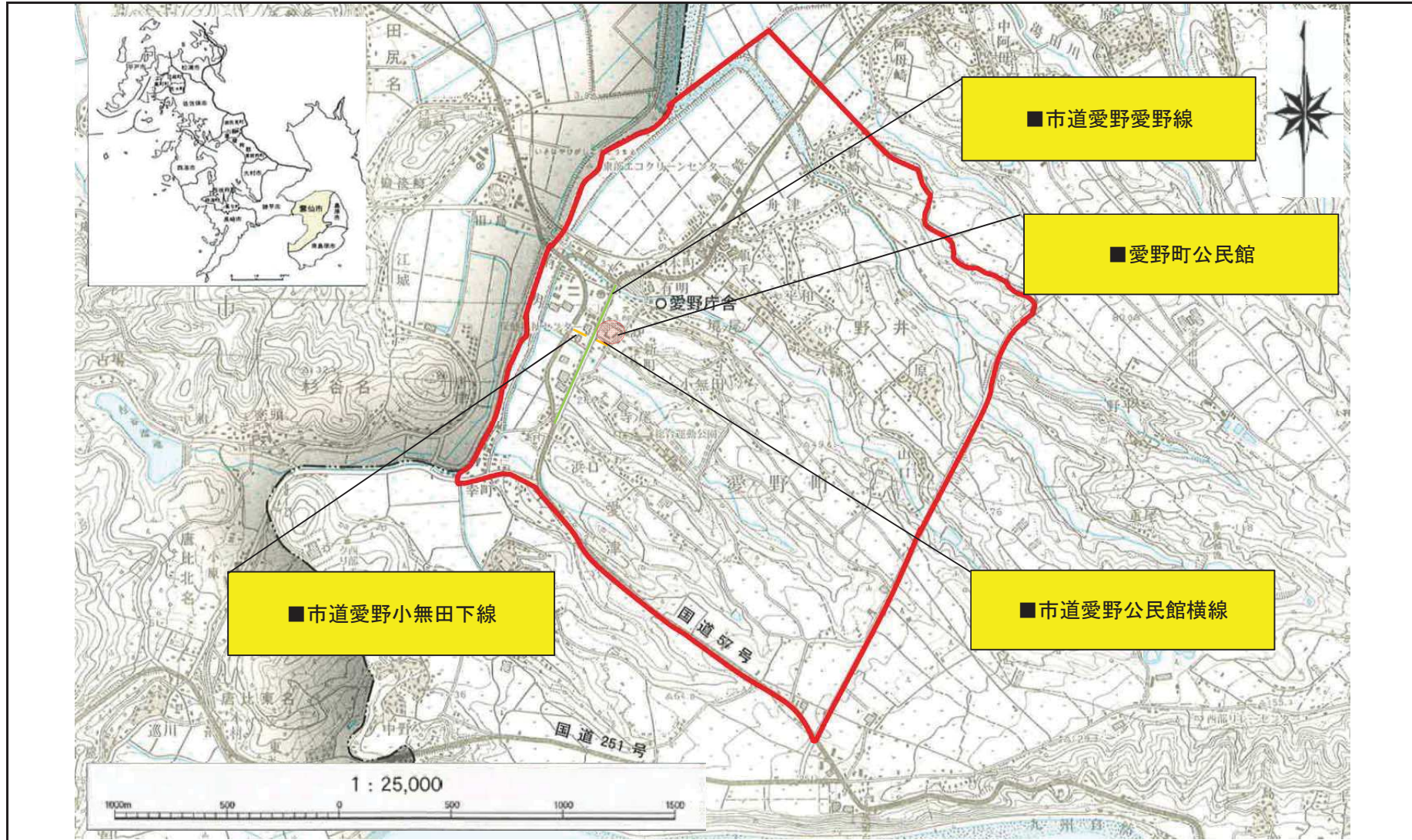
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1: 交流と賑わいを創出するまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛野地区は、雲仙市の中央地区として、また、島原半島の陸の玄関口として、市民はもとより、市外からも集まりやすいという立地条件を活かした交流と賑わいを創出するまちづくりの拠点として、分散した公共施設(愛野総合支所と愛野町公民館)の機能を兼ね備えた複合施設として、地域交流センターの整備を行う。 ・地域交流センターの整備あたっては、多目的ホールや会議室等のほか、図書スペースや待合スペース等を確保し、生涯学習の拠点として、また、子供から高齢者まで集い・憩うことのできる利用しやすい施設として整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基幹事業: 高次都市施設(地域交流センター: 愛の夢未来センター整備) ○提案事業: 生涯学習施設整備事業(愛の夢未来センター内の図書スペース整備) ・関連事業: 庁舎整備事業(愛の夢未来センター内の支所機能整備)
<p>整備方針2: 交通結節点である利点を活かしたまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通結節点という恵まれた立地条件を活かすことができるように、道路の拡幅改良を行い、分散しているバス停を集約し、市民の利便性の向上を図るとともに、交通拠点としてバスシェルターの整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基幹事業: 道路(市道愛野小無田下線、市道愛野愛野線) ○提案事業: バスシェルター整備事業(バス停の集約に伴うシェルター整備)
<p>整備方針3: 人にやさしい安心・安全な道路整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもや老人などの交通弱者も安心して通行できるように、道路改良と歩道整備を行い、歩行者や自転車利用者の安全性と利便性の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基幹事業: 道路(市道愛野公民館横線、市道愛野小無田下線、市道愛野愛野線)
<p>その他</p> <p>【まちづくりの住民参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民を対象に、コミュニティーセンター整備に関するワークショップを、平成25年より2回開催し、整備に必要な機能や規模等に対する市民の意見の集約に努めてきた。 ・平成24年より、愛野地域審議会において、愛野地区のまちづくりの拠点として、愛野コミュニティーセンターの整備内容や愛野コミュニティーセンター周辺の道路改良、バス停の集約などについて協議してきた。 ・平成30年度に、施設の正式名称を市民に公募し、「愛の夢未来センター」と決定した。 	

都市再生整備計画の区域

愛野地区(長崎県雲仙市)	面積	4.5 ha	区域	愛野町の一部
--------------	----	--------	----	--------



愛野地区(長崎県雲仙市) 現況図



愛野地区(長崎県雲仙市) 整備方針概要図

目標	大目標:愛野地域における交流、賑わい創出による地域活性化	代表的な指標	地域交流センターの利用者数 (人)	63,876人 (H26年度) → 78,000人 (R2年度)
	①. 交流と賑わいを創出するまちづくりの推進		公共交通に不便を感じる人の割合 (%)	62% (H26年度) → 49% (R2年度)
	②. 交通結節点である利点を活かしたまちづくりの推進		交通体系網に関する満足度 (%)	42% (H25年度) → 50% (R2年度)
	③. 人にやさしい安心・安全な道路整備			

